

第19回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム (第2回日本太陽光発電学会学術講演会)

2022年6月28日(火) ~ 29日(水)
金沢市文化ホール/オンライン ハイブリッド開催



本シンポジウムは、国内の太陽光発電にかかわる研究者や技術者が一堂に会し、分野の垣根なく議論する場として、平成16年の第1回から毎年1回開催され、今回が第19回となります。昨年からは、2020年10月に発足した日本太陽光発電学会の主催で開催されております。多くの皆様からの御投稿、御参加をお待ちしております。



募集する一般講演の内容

1. シリコン系、化合物薄膜、超高効率・集光型、色素増感・有機薄膜、ペロブスカイト、第3世代等の各種太陽電池セル・モジュールの材料・作製プロセス・評価技術・信頼性等に関するあらゆる内容
2. 新規用途開拓 (BIPV、車載、ソーラーシェアリング、軽量、水上、衛星応用、IoT応用、光無線給電応用)、宇宙太陽光発電、O&M、リサイクル、ライフサイクルアセスメント、Solar to X等と関連技術
3. 太陽光発電システム (系統連系技術、フィールド試験、大規模発電)、パワーコンディショナ、蓄電システム、エネルギーマネージメント、バーチャルパワープラント、デマンドレスポンス、アグリゲータ等と関連技術
4. 国や地方自治体のエネルギー政策、導入普及と地域連携、電力市場等

開催日：2022年6月28日(火) ~ 29日(水)

現地開催場所：金沢市文化ホール (金沢駅より路線バス15分) 〒920-0864 金沢市高岡町15番1号

講演形式：口頭もしくはポスター (プログラム委員会に一任ください)

講演実施方法：口頭講演は対面/オンライン選択可、ポスター講演はZoomブレイクアウトルームを使用

投稿資格：日本太陽光発電学会会員に限る (学生は入会金免除)

アブストラクト投稿締切：4月28日(木)

早期参加申込締切：5月27日(金)

問合せ先：第19回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム実行委員長 大平 圭介
北陸先端科学技術大学院大学 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1
Tel: 0761-51-1563, E-mail: ohdaira@jaist.ac.jp

参加費	本学会会員	非会員	学生
早期登録(5/27まで)	10,000円	20,000円	3,000円
通常登録(5/28以降)	20,000円	30,000円	5,000円

現地参加とオンライン参加の参加費は同額です

基調講演

田村 富昭 (経済産業省 資源エネルギー庁)
「太陽光発電の導入拡大に向けて」

河本 桂一 (みずほR&T)
「太陽電池モジュールリサイクルを巡る動向」

田林 聖志 (北陸電力)
「北陸電力の再生可能エネルギー導入拡大に向けた取り組み」

チュートリアル

松井 卓矢 (産総研)
「結晶シリコン太陽電池の基礎と新技術」

特別企画

パネルディスカッション
「循環型社会への挑戦～大量廃棄時代の到来を前に太陽光発電がなすべきこと」

招待講演

齋 均 (産総研)
「超薄型シリコンヘテロ接合太陽電池の開発」

中川 直之 (東芝)
「低コストタンデム太陽電池向け透過型Cu₂Oトップセルの高効率化」

秋山 英文 (東大)
「新たな太陽電池の絶対EL評価の基礎と応用」

山本 憲治 (カネカ)
「ペロブスカイト・結晶シリコンタンデム太陽電池」

松尾 豊 (名大)
「ナノカーボン材料を積極的に活用した有機系太陽電池の研究開発」

高森 浩治 (SPEI)
「太陽光発電システムの構造安全性について」

加藤 丈佳 (名大)
「太陽光発電の主力電源化に向けた電力需給運用の課題」

主催

日本太陽光発電学会

後援

北陸先端科学技術大学院大学
/石川県/金沢市

協賛

(公社)応用物理学会応用電子物性分科会/多元系化合物・太陽電池研究会/北陸・信越支部/
(一社)日本太陽エネルギー学会